

ダコニール 1000

70種類以上の作物、およそ180種類の病害に登録!



2019年12月末日現在

【常温煙霧としての適用病害と使用方法】

作物名	適用場所	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期※	本剤の使用回数※	使用方法	TPNを含む農薬の総使用回数※
きゅうり	温室、ガラス室、ビニールハウス等 密閉できる場所	べと病	33	10ℓ/10a	前日	8回	常温煙霧	10回(土壌灌注:2回、 散布及び常温煙霧及び くん煙及びエアゾル剤の噴射: 合計8回)
なす		うどんこ病				4回		4回

【土壌灌注剤あるいは種子消毒剤としての適用病害と使用方法】

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数※	使用方法	TPNを含む農薬の総使用回数※
稲(育苗苗)	苗立枯病 (リゾープス菌)	500~1000	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り500ml	は種時から緑化期 但し、は種14日後まで	2回	土壌灌注	2回
		1000~2000	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り1ℓ				10回(土壌灌注:2回、散布及び常温煙霧 及びくん煙及びエアゾル剤の噴射:合計8回) 6回(土壌灌注:2回、散布及び くん煙及びエアゾル剤の噴射:合計4回)
きゅうり	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	1000	3ℓ/m ²	は種時又は活着後 但し、定植14日後まで	2回	土壌灌注	5回(土壌灌注:2回、散布:3回)
トマト							3回(土壌灌注:1回、散布:2回)
レタス	ビッグベイン病	1000	1.5~3ℓ/m ²	収穫42日前まで	1回	土壌灌注	1回
ブロッコリー	根こぶ病		3ℓ/m ²	定植時			4回(土壌灌注:1回、散布:3回)
みずな	立枯病	500	0.5ℓ/m ²	出芽揃い後 (出芽3日後から10日後まで)	1回	土壌灌注	3回(土壌灌注:1回、散布:2回)
ねぎ	苗立枯病 (リゾクトニア菌)		セル成型育苗トレイ1箱または ペーパーポット1冊 (30×60cm、使用土壌約5ℓ) 当り0.5ℓ				3回(土壌灌注:1回、散布:2回)
わけぎ	黒葉枯病	12	乾燥種子1kg当り60ml	は種前	1回	吹き付け処理 (種子消毒機使用)	5回(種子への吹き付け処理:1回)
にんじん							

※印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫(摘採)前の日数と、本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示しています。

病害の同時防除に。

クミアイ

農林水産省登録 第16824号

ダコニール 1000

「ダコニール」、「ダコ」、「DACO」は株式会社エス デー・エス バイオテックの登録商標です。



殺菌剤「DACO」の専用サイト
ダコニール倶楽部
daco-club.com



有効成分:テトラクロロイソフタロニトリル(TPN)・・・40.0%w/w 性状類白色水和性粘稠懸濁液

【散布剤としての適用病害と使用方法】

※印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫(摘採)前の日数と、本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示しています。表中「―」は、使用時期の制限がないことを示しています。

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	TPNを含む 農薬の総使用回数	作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	TPNを含む 農薬の総使用回数
きゅうり	べと病、炭疽病、うどんこ病、 褐斑病、灰色かび病、黒星病	1000	―	前日	8回	10回(土壌灌注:2回、 散布及び常溫煙霧及びくん煙 及びエアゾル剤の噴射:合計8回)	もみあざみ	ステムフィソウム葉枯症	1000	100～ 300 ℓ/10a	30日	3回	3回
にがうり	べと病、炭疽病、うどんこ病、 斑点病、つる枯病	―	―	―	4回	4回	みょうが(花穂)	葉枯病、紋枯病	―	―	14日	4回	4回
ズッキーニ	うどんこ病	―	―	―	3回	3回	みょうが(莖葉)	―	―	―	★4	―	―
ごぼう	―	―	―	―	5回	5回	ブロッコリー	べと病	―	―	出蕾前 但し、21日	2回	3回(土壌灌注:1回、 散布:2回)
ゆうがお	べと病、炭疽病、うどんこ病	―	―	―	4回	4回	カリフラワー	―	―	―	出蕾前 但し、14日	3回	3回
うり類(漬物用、 但し、ゆうがおを除く)	べと病、炭疽病、うどんこ病、 つる枯病	―	―	―	7日	3回	茶	網もち病、褐色円星病	700	200～ 400 ℓ/10a	10日	1回	1回
かぼちゃ	べと病、うどんこ病、白斑病	700	―	―	3日	5回	―	黒葉腐病、灰色かび病	700～ 1000	―	―	―	―
すいか	炭疽病	700～ 1000	―	―	4回	4回	セルリー	炭疽病、もち病、輪斑病、 新梢枯死症(輪斑病面による)	―	―	21日	2回	2回
メロン	うどんこ病	700	―	―	7日	3回	にんじん	黒葉枯病	1000	―	7日	5回	5回(種子への 吹き付け処理:1回)
トマト	疫病、葉かび病、輪紋病、 炭疽病、灰色かび病、 すすかび病、うどんこ病、 褐色輪紋病	―	100～ 300 ℓ/10a	前日	4回	6回(土壌灌注:2回、散布 及びくん煙及びエアゾル剤 の噴射:合計4回)	みつば	べと病	―	―	根株養成期 但し、75日	3回	3回
ミニトマト	斑点病	―	―	―	2回	2回	しゃくやく(薬用)	うどんこ病	800	100～ 300 ℓ/10a	45日	15回 (1年間に3回)	15回 (1年間に3回)
なす	黒枯病、灰色かび病、 すすかび病、うどんこ病	―	―	―	4回	4回	みしまさいこ	炭疽病	500	―	30日	3回	3回
オクラ	葉すす病	―	―	―	5回	5回	らっかせい	褐斑病	―	―	14日	4回	4回
ピーマン	斑点病、うどんこ病、 黒枯病、炭疽病	―	―	―	3回	3回	食用ぎく	葉枯病	―	―	30日	6回	6回
はくさい	べと病、白さび病、 白斑病、黒斑病	―	―	7日	2回	3回(は種又は定植前の土壌灌注1回、 散布及びエアゾル剤の噴射:合計2回)	食用ゆり	葉枯病	―	―	14日	2回	2回
キャベツ	べと病、根朽病	―	―	14日	2回	3回(は種又は定植前の土壌灌注1回、 散布及びエアゾル剤の噴射:合計2回)	ふぎ	灰色かび病	1000	150 ℓ/10a (係元散布)	21日	2回	2回
ひるしまな	白斑病	―	―	28日	2回	2回	あしたば	黒枯病	―	―	30日	3回	3回
なばな類★2 (なばなを除く)	べと病、白さび病、 白斑病、黒斑病	1000	―	60日	3回	3回	てんさい	褐斑病	―	―	根株養成期 但し、200日	4回(散布:3回、 根株瞬間浸漬:1回)	4回
なばな	ワッカ症、白さび病、 白斑病、炭疽病	―	―	出蕾前 但し、21日	3回	3回	うど	黒斑病	―	―	前日	4回	4回
だいごん	灰色かび病	―	―	45日	2回	2回	りんこ	斑点落葉病、モモリア病、黒星病	2000	200～ 700 ℓ/10a	45日	3回	3回
レタス	べと病、すそ枯病	―	100～ 400 ℓ/10a	21日	2回	6回	なし	黒斑病、黒星病	500～1000	―	60日	7回	7回
リーフレタス	べと病、灰色かび病、白色疫病	―	―	7日	6回	6回	もも	灰星病、黒星病	500	―	前日	6回	6回
たまねぎ	黒斑病、べと病、 小菌核腐敗病、葉枯病、 さび病	―	―	14日	3回	4回(土壌灌注:1回、 散布:3回)	ネクタリン	疫病、黒葉枯病、黒かび病、さび病	2000	200～ 700 ℓ/10a	60日	2回	2回
ねぎ	葉枯病、黄斑病、 白斑葉枯病、さび病	―	―	7日	6回	6回	いちじく	果実軟腐病	500～1000	―	60日	7回	7回
にんにく★3	葉枯病、黄斑病、 白斑葉枯病、さび病	―	―	14日	3回	3回	キウイフルーツ	すす斑病	500	―	前日	5回	5回
らっきょう	灰色かび病	―	―	14日	3回	3回	マルメロ	炭疽病	―	―	30日	4回	4回
アスパラガス	茎枯病、斑点病、褐斑病、疫病	500～ 1000	100～ 300 ℓ/10a	前日	4回	4回	かりん	黒点病、こま色斑点病、 白かび斑点病	1000	―	45日	3回	3回
しょうが	紋枯病、白星病	―	―	14日	5回	5回	パッションフルーツ	円斑病、疫病	―	―	14日	6回	6回
ばれいしょ	疫病	―	―	7日	6回	6回	しきみ	炭疽病	700～ 1000	25～150 ℓ/10a	―	2回	2回
やまのいも	炭疽病、葉潰病、つる枯病	1000	―	30日	6回	6回	たはこ	うどんこ病	―	―	―	―	―
やまのいも(むかこ)	―	―	―	45日	―	―	花き類・観葉植物 (ばら、さく、 チューリップ、ゆり、 りんどうを除く)	うどんこ病、斑点病	1000	100～ 300 ℓ/10a	―	6回	6回

- ★1 うり類(漬物用)に含まれる作物:赤毛ウリ、食用ひょうたん、食用へちま、しろうり、漬物用すいか、漬物用まわうり、漬物用メロン、とうがら、はやとり、ゆうがお ●漬物用以外のまわうりには使用できません。
- ★2 なばな類に含まれる作物:あさこな、あすっこ、アレック、おおさな、太田かぶ、オートムボエム、大月菜、大野菜、かいらん、かきな、勝山水菜、くきたな、ケールッコ(なばな栽培)、こうさいたい、こまつな(なばな栽培)、さいしん、三景雪菜、四川児菜、たべたい菜、チーマデラーバ、チンゲンサイ(なばな栽培) チンゲンシッコ(なばな栽培)、摘菜花、つぼみな、なばな、のらぼうな、博多薺菜、はくさい(なばな栽培)、はたけな(なばな栽培)、はなっこー、みずかね、めいけな
- ★3 葉にんにく、にんにく(花茎)には使用できません。
- ★4 みょうが(莖葉)への使用時期:みょうが(花穂)の収穫14日前まで 但し、花穂を収穫しない場合は開花期終了まで。

△効果・薬害等の注意

- 使用前に容器をよく振ってください(沈殿)。
- 石灰硫黄合剤とは混用しないでください(分解)。
- ストレプトマイシン剤及びホセチル剤と混用する場合、必ず本剤を先に所定の濃度に希釈してからそれぞれの剤を加えてください(凝集沈殿)。
- 稲(箱育苗)の緑化期に使用する場合、発病後の処理では効果が劣ることがあるので注意してください。育苗箱から希釈液が漏出しないうちに注意してください。
- りんごに使用する場合、ゴールドの後代品種(つがる、世界一、ジョナゴールド等)には使用しないでください(薬害)。落花後20日間は散布しないでください(薬害)。
- なしに使用する場合、二十世紀以外の品種には使用しないでください(薬害)。また、二十世紀でも7月以降に使用しないでください(薬害)。
- 有袋栽培のものに使用する場合、除袋直後の散布はさけてください(薬害)。
- いちじくに使用する場合、果実肥大期の初期あるいは夏期高温時の散布はさけてください(薬害)。
- ねぎ及びわけぎに土壌灌注する場合、は種時から出芽直後の処理はさけてください(生育抑制)。
- レタスに使用する場合、高温期の灌注はさけてください(生育遅延)。
- しそに使用する場合、葉にかららないよう株元に散布してください(汚れ)。
- 常溫煙霧として使用する場合、次の事項に注意してください。
 - ①専用の常溫煙霧機により所定の方法で煙霧してください。特に常溫煙霧装置の選定及び使用にあたっては、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
 - ②煙霧が直接作物体に当たると汚れが生じるおそれがあるので、施設上部に噴頭部を設置するなど煙霧が作物体に直接当たらないよう注意してください。
 - ③作業は出来るだけ夕方に行い、終了後は6時間以上密閉してください。

- 花き類に使用する場合、花卉の着色期以降や収穫間際の散布はさけてください(薬害・汚れ)。
- 芝に使用する場合、夏期高温時の散布、特に暖地では葉に黄変または褐変の薬害を生ずることがあるので注意してください。
- 使用量・使用時期・使用方法を守ってください。特に初めて使用する場合は、使用者の責任において、事前に薬害の有無を十分に確認してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分に確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

△安全使用上の注意

- 誤飲などに注意してください。
- 眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください(刺激性)。
- 皮膚に付着しないように注意してください。皮膚に付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落とす(刺激性)。
- 夏期高温時は使用しないでください。
- 使用の際は保護クリームをつけ、農業用マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣等を着用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをして衣服を換えてください。作業時の衣服等は他と分けて洗濯してください。
- かぶれやすい人は作業に従事しないでください。施用した作物等に触れないでください。
- 桑葉にからならないように注意してください(蚕毒)。

- 街路、公園等で使用する場合、使用区域に縄囲いや立て札をたて、使用中及び使用後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせないでください。小児、人畜等に留意してください。
- 常溫煙霧中はハウス内へ入らないでください。また常溫煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後入室してください。

- 魚毒性等… 魚類に強い影響を及ぼすおそれがありますので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意してください。養殖池周辺での使用はさけてください。使用した苗は養魚田に移植しないでください。移植後は河川、養殖池等に入らないよう水管理に注意してください。(魚類)

- 甲殻類に影響があります。河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意してください(甲殻類)。
- 使用残りの薬液が生じないように調整し、使いきってください。
- 移送取扱いは、ていねいに行ってください。

- 漏出時は、保護具を着用し、布・砂等に吸収させ回収してください。
- 密栓し、直射日光を避け、食品と区別して冷涼な場所に保管してください。

- ラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず3回以上水洗い、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

この印刷物の記載内容は2019年12月末日現在のものです。

2019年12月作成(東宣)

1759(20-1)